

女性展望カフェ
「語る」シリーズ2017-④

李香蘭に 学ぶ昭和史



講師メッセージ

女優「李香蘭」は戦前の満州における映画スターとしての芸名で、本名は山口淑子。彼女の悲劇は美貌と美声に恵まれたが故に、軍部に利用され、日本人でありながら中国人と偽って日本の大陸政策に利用されたこと。

しかし、戦後は日本にとどまらず、米国にわたり、ハリウッドやブロードウェイで国際的スターとして、一世を風靡した。ジャーナリストのあと、政治家に転じてからは、参議院議員として市川房枝らと共に、平和と民主主義や、女性・老人ら“弱者”を守るキャンペーンを展開した。

本年は3回忌。この機会にその華麗にして数奇な生涯を振り返る。

日中開戦 80 年の今年、満州で「少国民」の時代を過ごした藤原作弥さんに、ご自身の経験を重ねて、李香蘭の生涯を語っていただきます。

ふじわらさく や

講師 ■ 藤原作弥 さん



エッセイスト、ノンフィクション作家。1937年宮城県生まれ。1942年父と北朝鮮の清津に移住。2年後旧満州の興安街(現モンゴル自治区)へ。ソ連軍の侵攻により安東(現丹東)にたどり着き、1946年11月帰国。1962年東京外国語大フランス学科卒業後時事通信社入社、経済部に配属され大蔵省担当。1967年～オタワ、ワシントン特派員。以後日銀、経団連担当などを経て解説委員長に。1998～2003年日銀副総裁。著書『聖母病院の友人たち』『満州、少国民の戦記』『李香蘭 私の半生』(山口淑子との共著、以上新潮社)、『満州の風』『素顔の日銀副総裁日記』(以上集英社)、『この国の姿』(愛育社)他多数。

時 ■ 9.29 (金) 13:30～15:30

所 ■ 婦選会館 東京都渋谷区代々木 2-21-11

定員 ■ 30人 (要予約。下記主催宛、電話・FAXまたはメールでお申し込みください)

参加費 ■ 1,620円 (税込)

本誌読者及び特別維持員は 1,500円 (税込)

公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター

東京都渋谷区代々木 2-21-11 婦選会館

TEL 03 (3370) 0238 FAX 03 (5388) 4633

E-mail fitikawa.moushikomi@fork.ocn.ne.jp URL www.ichikawa-fusae.or.jp